2026年11月10日

各　　位

会 社 名　　株式会社ケイ・ウノ
代表者名　　代表取締役CEO　青木　興一
（証券コード259A　名証ネクスト市場）
問合せ先　　取締役CAO兼執行役員 渡沼　和則
（TEL：080-7638-1240）

2026年９月期通期業績予想の修正、営業外費用（連結）及び特別損失（連結・個別）の計上に関するお知らせ

当社は、2026年５月14日に公表いたしました2026年９月期（2025年10月１日～2026年９月30日）通期業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。また、2026 年９月期において営業外費用及び特別損失を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

１．連結業績予想の修正

（１）2026年９月期通期　連結業績予想数値の修正（2025年10月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想　(A)	7,911	125	117	78	73.98
今回修正予想　(B)	7,891	179	81	△29	△27.55
増減額　(B-A)	△20	54	△36	△107	－
増減率　(%)	△0.2	43.5	△30.5	－	－
（ご参考）前期実績（2025年９月期）	7,004	102	75	22	21.87

（２）差異の理由

売上高につきましては、札幌店移転・横浜本店リニューアルや広告媒体施策による来店の堅調な推移、地金価格高騰を背景としたリフォーム売上の拡大に加え、2026 年１月及び４月の価格改定による客単価上昇などにより、ケイウノ国内店舗の売上が堅調に推移したほか、IP 商品において、推し活市場の拡大を背景に、新規出店した「ユートレジャーコンセプトストア心斎橋」に加え、VTuber・ゲームキャラクターとのコラボ商品や、純金製コイン・18 金製フィギュアの販売が順調に推移したことにより、想定通り前期を大幅に上回り、前回予想並みとなる見込みです。

営業利益につきましては、売上高及び売上原価率が前回予想並みで推移したことに加え、経費の効率化が奏功したことにより、前回予想を上回る見込みです。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、下記２・３のとおり営業外費用及び特別損失を計上することから、前回予想を下回る見込みです。

２．連結業績における営業外費用の計上について

台湾の持分法適用関連会社（以下「台湾関連会社」といいます。）において固定資産の減損損失が発生したことに伴い、持分法による投資損失として 86 百万円を営業外費用に計上する見込みです。

３．特別損失の計上について

（１）関係会社貸倒引当金繰入額（連結・個別）

前記２に記載した台湾関連会社における固定資産の減損損失発生に伴い、同社に対する貸付金等について、関係会社貸倒引当金繰入額 47 百万円を特別損失に計上する見込みです。

（２）関係会社株式評価損（個別）

台湾関連会社の関係会社株式について、「金融商品に関する会計基準」に基づき評価を行った結果、実質価額の低下が認められたため、関係会社株式評価損 100 百万円を特別損失に計上する見込みです。

なお、当該関係会社株式評価損につきましては、連結決算において消去されるため、連結業績への影響はありません。

※本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上